

農林水産省 農産局長賞

第54回(令和7年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 家族経営の部

スマート化と徹底的な栽培管理で高収益化を実現！

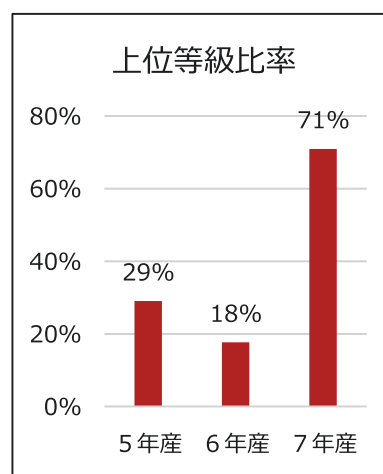
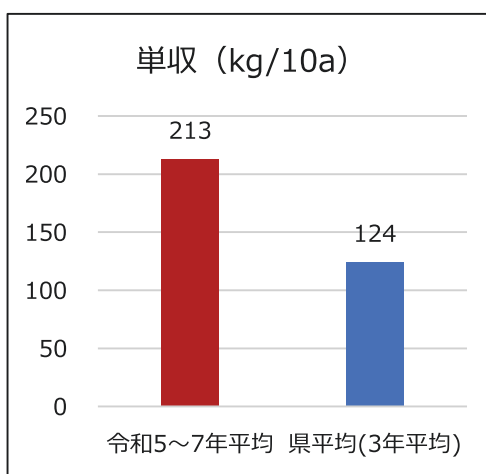
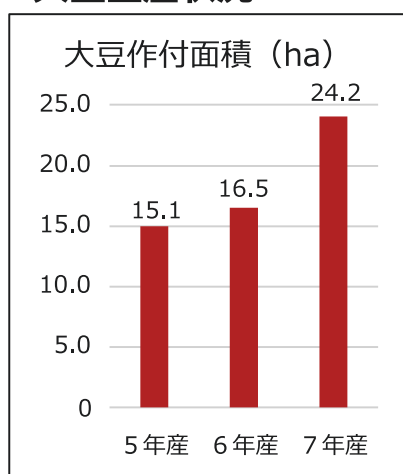
鶴田 晃康

愛知県安城市



経営のタイプ	個人
農地面積（令和7年度）	65.7 ha
大豆作付面積（令和7年度）	24.2 ha
栽培品種（◎奨励品種）	◎フクユタカA1,そらみのり

■大豆生産状況



■技術の特色

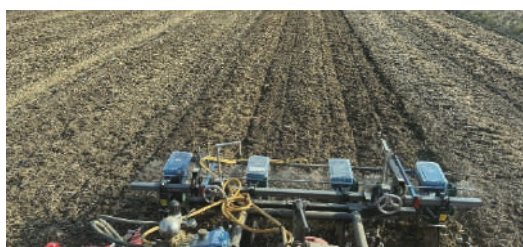
スマート農機利用による徹底した排水対策に加え、適期播種や雑草管理等の基本作業を確実に実施し、追肥による大粒比率向上などにも取り組む。さらにGNSS-RTK基地局を自宅倉庫に設置し、スマート農業技術と大型機械を効率的に活用することで急速な規模拡大にも対応し、高収量・高品質を安定して確保している。

■経営の特色

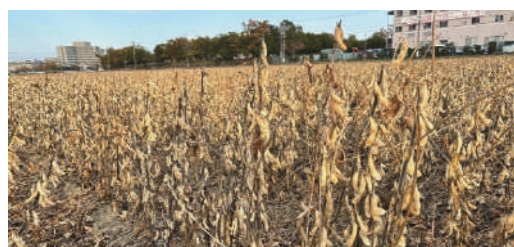
担い手の離農に伴い、経営面積と大豆作付面積を大きく拡大。主な作業従事者が本人1名の中、積極的なスマート農機の導入や機械の大型化への投資を進め、不測な面積拡大においても、急な人材確保に頼らず安定した経営基盤を維持できている。また、農地を適正に管理し、地域水田を荒廃させることなく守ろうという意識も高い。

■販売・消費拡大・地域貢献の特色

収量だけでなく大粒比率向上など実需者の求める品質に取り組む一方で、地元大豆加工業者と連携して新品種「そらみのり」の試験栽培も実施している。また、地元小学生の田植え体験など食育活動への協力に加え、生協や地元加工業者と共同で地域の消費者交流を開催し、地域農業のブランド価値向上にも寄与している。



直進アシストを活用した大豆播種の様子



フクユタカA1成熟期の圃場

全国農業協同組合連合会 会長賞

第54回(令和7年度)全国豆類経営改善共励会

大豆 家族経営の部

スマートでディテールにこだわり抜く農業

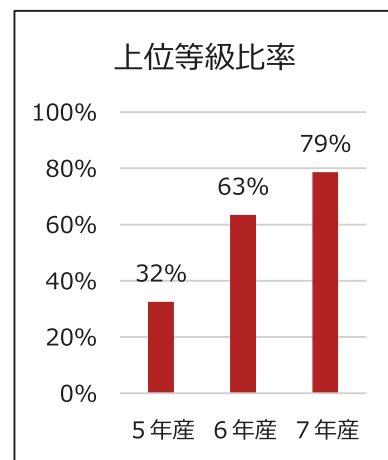
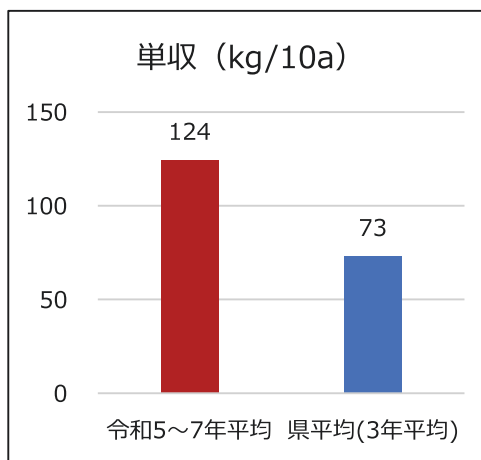
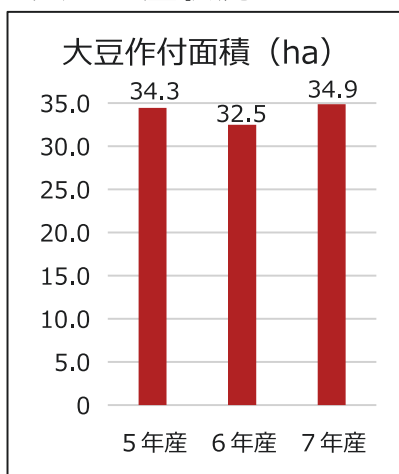
伊藤耕業 代表 伊藤 久寿

三重県菰野町



経営のタイプ	個人
農地面積（令和7年度）	69.8 ha
大豆作付面積（令和7年度）	34.9 ha
栽培品種（◎奨励品種）	◎フクユタカ, ◎サチユタカA1号

■大豆生産状況



■技術の特色

KSASやGPSガイダンス、ドローン等の先進技術をいち早く導入し、スマート農業技術と大型機械によって徹底した省力化を推進している。難防除雑草には吊り下げノズルと特注機で徹底防除を目指す。明渠の深掘りで圃場排水機能を維持し、忠実な適期作業など基本技術を徹底することにより、高収量・高品質を確保している。

■経営の特色

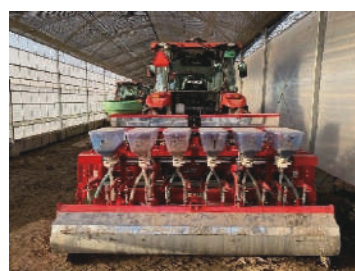
「地主への感謝」を根幹に、徹底した畔管理で地域の厚い信頼を獲得している。SNSや全国ネットワークからトップランナーの最新技術を能動的に取り入れ、高収量を安定維持している。配偶者によるトラクター作業など家族中心の基幹労働によってコストを抑える一方、外国人材も受け入れて開かれた経営体制を確立している。

■販売・消費拡大・地域貢献の特色

地元業者やJAと連携し、納豆用小粒品種のグループ栽培や食育活動を主導。栽培課題で品種を断念した経験も知見として次期新品種「そらみのり」に生かす予定。若手と「菰野資材共同組合」を設立し、共同購入でコストを抑え、情報共有も推進。



自動操舵で播種 播種ムラ無し



高速播種機（耕起・施肥・播種・畝立て・鎮圧）